



# 河内小学校ニュース

平成27年10月30日(金) 第12号

## 河内フェスタ特集!!

10月24日(土)に河内フェスタが行われました。今年度は、体育館が使用できないため、河内ふれあいセンターでの開催となりました。保護者の皆様、地域の皆様、ご来賓の方々多数においでいただき、発表することができましたことに御礼申し上げます。

子どもたちは限られた時間の中で、本気で練習に取り組み、自分たちの表現したいことや伝えたいことを体全体で表現しようとしてきました。当日は「発表を通して表現力を高めていこうとする子ども」の姿が河内ふれあいセンターいっばいに披露されました。保護者の皆様には、子どもたちの衣装などの準備等、大変お世話になりました。



河内フェスタは1年生の谷川俊太郎の詩の群読と「はじめの言葉」で開会し、各学年の発表が始まりました。

### 【1・2学年 ウクライナ民話 劇「てぶくろ」】



寒い寒いロシアの冬。おじいさんが森の中で手ぶくろを落としてしまいました。それを見つけた動物たちが次々と中に入っていくのですが…。小さな手ぶくろの中はどうなっているのでしょうか？

1・2年生の子どもたちが、個性ある動物たちを演じました。

### 【3・4学年 劇「河内三太郎」】

河内にも、日本人ならおなじみのヒーローやヒロインがいました。金太郎・桃太郎・浦島太郎とその愉快的仲間達が繰り広げる昔話の場面を3・4年生が楽しく表現しました。

鬼ヶ島での戦いでは、三世代交流で培った、けん玉やヨーヨー、あやとりなどで競いました。最後は、鬼ヶ島の鬼とも友達になることができ、めでたしめでたしでした。



## 【5・6学年 劇「注文の多い料理店」】

6年生が、国語の時間に学習した宮沢賢治作の童話「注文の多い料理店」を、5・6年生13名で演じました。人数に合わせて、配役などを少しアレンジ



して、劇に仕上げました。

衣装や舞台設定を工夫したり、大道具や小道具を自作したりと、意欲的

に取り組みました。一人一人が配役になりきり、精一杯の表現をして、宮沢賢治の童話の世界をふれあいセンターに繰り

広げることができました。



## 《第2部では》



第2部は、子どもたちの楽しいひょっこ踊りで始まりました。初めてひょっこ踊りを体験する1年生も、お面や衣装を着けて自分なりに工夫して参加することができました。事前に河内フェスタに向けて、ひょっこ愛好会の皆様にご指導をいただきました。その成果が見事に現れていました。柄沢先生もひょっこになりきって踊っていました。

この他にも【1・2学年 ドレミの歌】や【6学年 少年の主張「未来がよりよくあるために」】最後に【3～6学年合奏「ルパン三世」 全学年合唱「ビリーブ」】と盛りだくさんの内容で発表することができました。

第2部については、次号で紹介したいと思います。



## 就学時健康診断・子育て講座

10月29日(木)、午後から来年度入学生の就学時健康診断が行われました。来年度入学予定者5名のお子様の、視力や聴力、眼科・内科及び歯科の検診とスクリーニング検査を行いました。また、健康診断の時間を利用して、保護者の方々には「子育て講座」ということで、郡山市の社会教育指導員の滝波久雄先生から、「子どものしつけや入学までに身に付けること」についてお話をいただきました。

なお、新入生保護者説明会は、平成28年2月4日(木)に行う予定です。

5名の新入生の皆さんの来年の入学を心よりお待ちしております。